





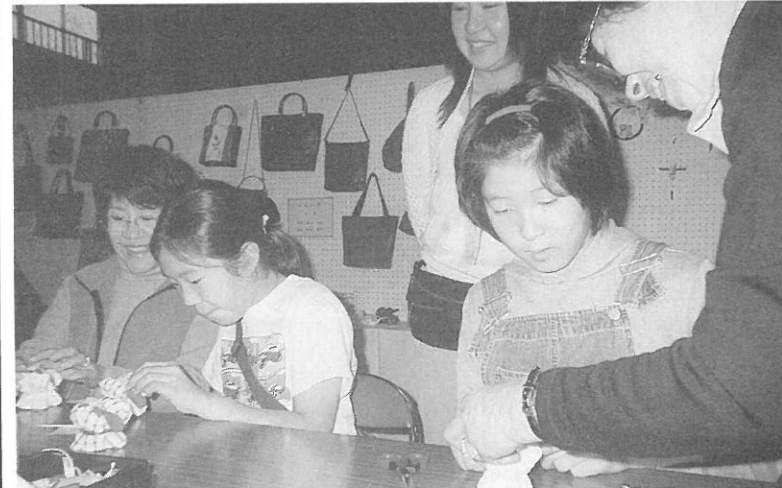
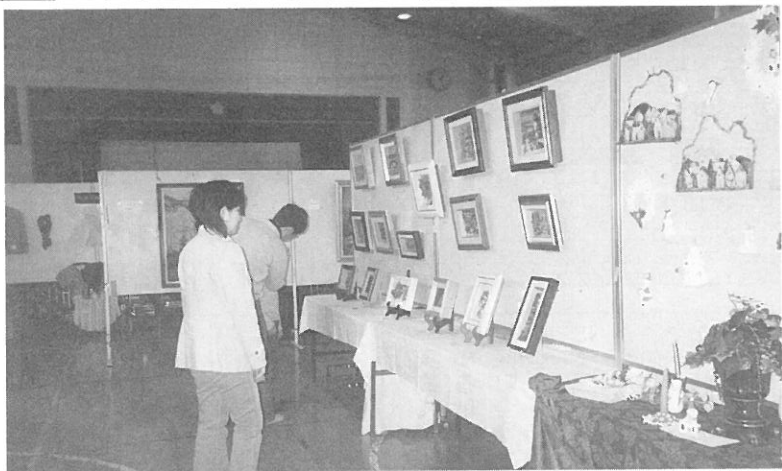
# 第21回 柏ビレジ文化祭

## 柏ビレジ文化祭を終えて

実行委員長 土屋 昭太郎

柏ビレジ文化祭も今年で21回を迎え、11月11日、12日の2日間に亘り行われ、従来の絵画、書道、写真、手芸、園芸等の作品展示と演芸発表会、それと恒例となりましたお煎茶、お抹茶のお茶席が催されました。

さらに今年は、一人でも多くの来場者の方々に参加して楽しんで頂くためのイベントとして、手芸出品された中村さん達のご指導で「かわいいタオルのワンちゃん」の手作りコーナーが設けられ小さなお子さん達や家族ぐるみでワイワイ・ガヤガヤ楽しそうに作っている姿が見受けられ大変好評でした。また、演芸発表会では、琴・尺八演奏、創作太鼓とビレジクニツクの遠藤先生による「かつらをつけた変装姿」での手品と健康講座、お嬢様二人によるピアノ演奏等趣向を凝らしたご家族での出演等々に大変盛り上がりしました。

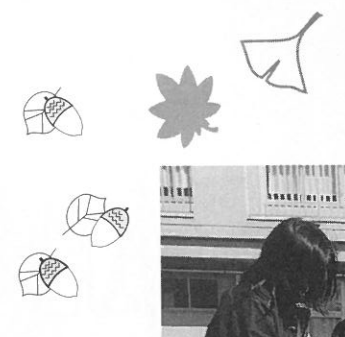


蛇足ですが、笑いは健康の源ともいわれ、先生には時折こうしたユーモアのある姿での診療日を設けていただくこと住民の健康につながることに間違いなしと思えます。

出品作品のなかにはプロ顔負けの作品もあり、特に日頃見かけない作品等のように制作するのか実際に見られたらとの声も聞かれ作品に対する関心の高いことも大変良かったと思えます。さらに、今思うところとした素晴らしい作品に加え、遊び心のある面白い作品や、廃品利用の資源活用作品、さらにはご家族みんなの合

作による絵画や工作等ほえましい作品などの特設コーナーがあると、もっと楽しい地域の文化祭らしいものになったのではと思うところでは。

今後は、この文化祭もコミュニティルーム「はなみずき」との関係をどう活かしていくかが課題との声も聞かれましたが、まずは無事終えたことに感謝しますとともに、ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。



### 今後の 柏ビレジ 行事予定

#### 1、冬季夜間 防犯パトロール

◇実施予定日 12・23(土) 12・24(日) 12・30(土) 1・7(日)

#### 2、柏ビレジ餅つき大会

◇実施予定日時 1・8(月) 午前11時開始

#### ◇開催場所 柏ビレジ近隣公園 (大雨、大雪の場合は 自治会館)

#### 3、凧揚げ大会

◇実施予定日 1・28(日)

## 書

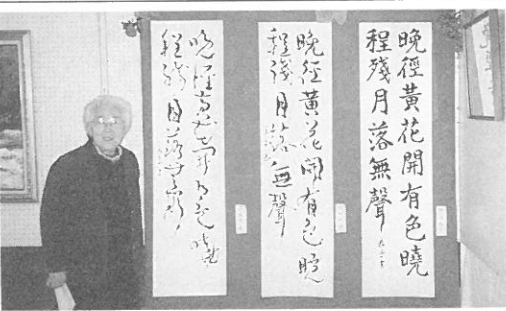
### 三嶋ちとせ

戦時中機会がなく出来なかつた事を、余生の楽しみの一つとして始めて見ようと思ひ、若い方達のお仲間入りをさせて頂きました。

和やかな書の会は週一回のお稽古ですが楽しみにして居ります。数人の立派な資格ある方達に恵まれ、和氣藹々の集りです。

書に熱心なお友達は、お互いに「頑張って」が合言葉の様に励し合ひます。

今回も一ヶ月余りの練習期間がありましたがお手本を見て戸惑ふ私は「頑張つてね」の言葉に力づけられ書いて見ようと思ひました。難しい筆運びや添削を何回





# 疾風太鼓

野本高視

今年、約1年ぶりとなる練習に参加した時に、「やっぱり太鼓はいいなあ」と感じた。それは自分にとって落ち着ける場所に戻った時の感覚のようなもので、僕にとつて太鼓の音の響いている空間こそが憩いの場所なのだ。しかし、僕が一年間、受験勉強に専念するために太鼓から離れている間に、他のメンバーは一年よりも格段にうまくなっていた。だから、感慨に浸っている時間はあまりなかった。去年の分のブランクを早く取り戻さなければならなかったからだ。

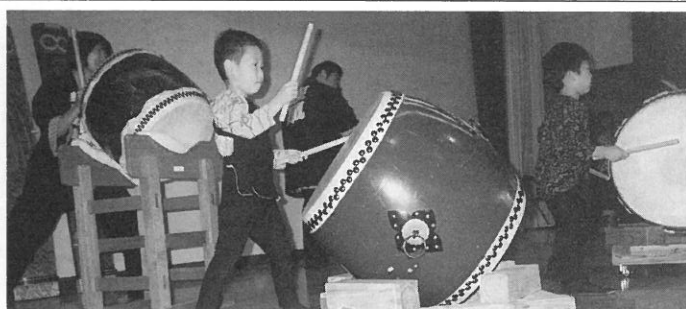
今年の夏は、ほとんどすべての練習に参加することができた。日々の練習の中で、一年という歳月がどれほど大きいかを思い知らされた。叩き方がぎこちなくなっていたり、曲を全く思い出せず叩けなくなっていた曲もあったりもした。それでも、夏祭りの前になるとそれらのブランクはほとんど解消できたように感じた。しかし、自分自身が一年よりも進歩したとは思えなかった。夏祭りが終わって、疾風太鼓のメンバーの一人から「うまくなったな。」と言われた時は心底うれしかった。

夏が終わった後も、ハミングやビレッジの文化祭などで叩くために練習が続いた。ビレッジの文化祭では初めて『疾風(しつぷう)』という創作曲に参加する事ができた。失敗してしまい、一緒にやった先輩に迷惑をかけてしまった面もあったが、楽しんで叩く事ができたからその点はよかつたと思う。

今後の僕自身の目標は、「より観客の人が楽しめるように演奏する。」である。見ている人・聞いている人が楽しむためには、僕自身が楽しみながら叩く事が必要不可欠なことだと思ふ。来年の夏祭りの時により多くの人に楽しんでもらえる



ようにこれからの練習をより一生懸命に行っていくたい。今年増えた中学生に追い越されないためにも……。これからも、疾風太鼓はよりよい音楽を作り、みなさまのところに届けるために精進していくつもりです。



## 第21回 文化祭展示・行事

(順不同、敬称略)

### 1. 展示

- [ 絵 画 ] 戸崎昭子、奥田とき江、竹内ふく子  
土屋昭太郎、永島百合子
- [ 書 道 ] 翠会 (目黒和子)、酒井梅子、竹内 巖
- [ 写 真 ] 奥田真純
- [ 盆 栽 ] 相澤忠郎
- [ 和 紙 絵 ] 足立ヤエ
- [ 俳句短冊集 ] 桧垣篤夫
- [ 手芸・編物 ] 戸辺雅子、中村美智子、蔵 彩夏
- [ ポーセリンペインティング ] 村上知絵
- [ アートフラワー ] 河相久枝
- [ シヤドー・ボックス ] 杉浦啓子

### 2. 発表

- [ 琴尺八演奏 ] 千鳥会 (近藤迪子、他5名)
- [ 創作太鼓 ] 疾風太鼓 (子安祥平、他)
- [ マジック・健康講座 ] 遠藤
- [ ピアノ演奏 ] 遠藤

### 3. お茶席

- お煎茶 (11日) 遠藤、他
- お抹茶 (12日) 奥山、他



## 老人クラブへの夢

新樹会 野瀬田 日出生

日本は敗戦を乗り越えて何と素晴らしい国になったのだらうと、感心してしまふ。大正十五年生まれの小学生は、戦前、戦中、戦後と世の変遷に押し流されてきた。幼時は、大人達の自由を謳歌するモボ、モガ時代を経て、戦中の、打って変わった飢餓と恐怖の世間のこととん落ち込んだ哀れな記憶を経て、やっと飢餓道を脱して一息ついた時、六十才の老人が柏ビレッジにたどりついて来たという事です。

しかし、まさか、車の氾濫や、電子機器の日常化、電車の切符ももうつかりずらくなると買えません。月にウサギが居ると信じていた少年時代を過ごした私には想像を超えた事実です。

先人たちの数倍の世紀を体験しつつある次元の中に確かに存在しているのだと実感するのです。

今、新樹会は、これに同感する世代で構成されています。学徒動員、挺身隊、出征、空襲、捕虜、引揚、どれをとつても辛い、辛い記憶です。会では、親しくなることの体験が始まります。すると、案外近くに住んでいたことが判つたりして、打ち解けてしまふのです。つまり、戦友と言つたら不味いかな。

ご自宅では、この話は皆、聞き飽きて、孫も曾孫まで伝えたい貴重な記録も無理です。しかし、暗誦出来る位耳にたことと逃げられませんが、新樹会では、お互いに通じ合う何かがあり自宅に引き籠つていられるより、健康的です。

私も、家内を亡くし、引き籠り寸前を、社本多賀男元会長に説得され、会のお仕事の手伝いをさせて頂き精神的な回復が出来ました。感謝しております。

前段で書きました様に、大正。昭和の前期の日本人は実に時代に揉まれて育ってきた、贅沢も貧困も味わつた、この平成の世にあつて他に、類の無い打たれ強い層の人々だと思ひます。

さて、新樹会の夢に就いて、社本元会長と、平成十四年度の、新樹会の増員プランの冊子を作りました。その一節をご紹介しますと思ひます。

「教養活動部の夢と希望 地球文明の大躍進を見た二十世紀を超えて、明るい希望の二十一世紀を望みます。だが、現実には、我々の願いも空しく、激動の血腥い幕開けとなりました。

幸いにも、わが日本には直接の関係は無いかに見えますが、未来には何が待ち構えているか不安の日々です。中略

現在のサークル活動で昭和十七年度以降の会員の方々にも果たして魅力を感じて貰えるかどうか?

◎パソコン、ガーデニング、料理、絵画、ピアノ等組上に載せましたが、経費の面で、実らない夢となりました。現在の若い新樹会幹部による、夢の実現に待ちたいと思ひます。しかし、とつておきの大きな夢が実現しました。本題から少し離れますが、新樹会はこの「はなみずき」サロンの実現には自治会の方々と努力しました。ここは、必ずしも老人対象設備ではありませんが、老人擁護の気配りがされた、ショッピングセンターのオアシスです。大きな夢の実現は如何に大変か、実感したものです。

柏ビレジ・ニュース 96号記事訂正

### 寄付金の御礼

柏ビレジ夏祭りに際し、多数の企業、商店、個人の方々から総額五十万円の御寄付や清酒、ビールなどの御寄贈を賜りました。厚くお礼申し上げます。

### ご祝儀の御礼

柏ビレジ夏祭りに際し、多数の企業、商店、個人の方々から総額四十五万円の御祝儀や清酒、ビールなどの御寄贈を賜りました。厚くお礼申し上げます。



# 「はなみずき」便り

谷川 真理

お蔭様で「はなみずき」は今月で8ヶ月になります。本来のコミュニティルームの営業とこの間、ミニコンサート、映画会、絵画展、その他の催しを8回ほどやって参りました。それぞれ好評で店内は満席になる事になっていくと感じています。お客様も1月平均6百人から7百人ぐらいの方がみえて下さっています。が、しかし、私達の努力とは別に周辺に大店舗ができて、本来近くの商店が栄えなくなってしまうのに段々寂れて行くのを目の当たり見えています。是非御立ちよりください。心からお待ちしています。

地域のボランティアの方々との協力で、やっているのは違って生活が掛かっている商店街の皆様は、もっと大変だともいいます。1、600世帯に住むビレジ内での僅かな商店街がなくなったら皆様もつと真剣に考えても良いとお思いませんか。東急ストアが去った後になつてから不便になったと口々に言っていたのを思い出します。「後悔先に立たず」ならぬ為にも、皆様もう少し地元で、お買い物をお願いします。そして、「はなみずき」に、是非御立ちよりください。心からお待ちしています。



2006.10.31

H.18.10.31 「はなみずき」にて  
オカリナコンサート、50名ほどお客様がありとても良かった。



2006.11.08

冬バージョンの手づくりお汁粉の講習会4日間



「夏祭り」には夜10時まで営業

◇貸室 3時間 1000円  
光熱費 200円  
◇壁面 片面 1週間 500円  
営業時間内でもミニ会議に  
使えます。 無料  
是非ご利用くださいませ。

# 図書室まつり

図書ボランティア 篠原 一恵

〈みて きて つくつと入れ終わるまでにぎやかであそぼう〉をテーマに図書室まつりをしました。手作りの紙芝居「どんぐりと山猫」は、一人が話すのではなく皆で声を出し合う様にしたので、変化があらって聞き易かったと思います。

最後と最初の字がつかない歌の中に出てくるくまやうすなど好きなものを、うちわに描いてもらおうと、それぞれの個性が出て素敵に出来上がりました。4つのグループを作り、玉入れ競争をした時は子供たちよりお母さん達の方が盛り上がりしていましたよ。その玉を全員で大きな箱に全部入れておしまいとなる

〈みて きて つくつと入れ終わるまでにぎやかであそぼう〉という、子供も大人も一緒に楽しめる一日だけのこの2時間を大切にしたいと思っています。

図書ボランティアをして子供たちと何かをしているお父さんお母さんを見るとほほえましくなります。

私達ボランティアも、いろいろを伝ててくれる家族にささえられています。昨年来てくれて、「今年も来たよ！」と、云ってくれた小さなお友達に嬉しくなります。



〈みて きて つくつと入れ終わるまでにぎやかであそぼう〉という、子供も大人も一緒に楽しめる一日だけのこの2時間を大切にしたいと思っています。

図書ボランティアをして子供たちと何かをしているお父さんお母さんを見るとほほえましくなります。

私達ボランティアも、いろいろを伝ててくれる家族にささえられています。昨年来てくれて、「今年も来たよ！」と、云ってくれた小さなお友達に嬉しくなります。

冬に無理せず出来る図書ボランティアをやってみませんか？ 皆さんの出会いを待っています。

冬の商店街フリーマーケットにも参加するつもりです。足を運んでみてくださいます。

## 自治会館

柏市大室1311-48  
TEL (04)7132-1925  
FAX (04)7132-1965

月曜日～金曜日 午前9時30分～午後1時  
土曜日 午前9時30分～正午

\*日曜日、祝・祭日はお休みです

